

第 226 回液体クロマトグラフィー研究懇談会

期 日 2009 年 11 月 17 日 (火) 13:00~18:00

会 場 オルガノ株式会社[〒136-8631 東京都江東区新砂 1-2-8, 電話 03-5635-5100 交通: 東京メトロ 東西線『東陽町駅』下車 (3 番出口) 徒歩約 7 分]

(<http://www.organo.co.jp/company/pdf/honsya.pdf>)

開催趣旨 食品中の残留農薬について、平成 18 年 5 月に食品衛生法においてポジティブリスト制度が施行されました。この制度は、農産物の生産や食品流通の現場に大きな影響を与えています。また、残留農薬分析はそれぞれの機関の立場によって様々な目的や取り組みがあります。本例会では、多方面における残留農薬分析についてご講演頂きます。

講演主題 残留農薬分析あれこれ

講 演

講演主題概説 (オーガナイザー) (13:00~13:05) (財) 残留農薬研究所 坂 真智子

1. 残留農薬規制と LC の役割 (13:05~13:40)

(東京都健康安全研究センター) 高野伊知郎

2. ISO17025 の精度管理と残留農薬分析 (13:40~14:15)

(全国農業協同組合連合会) 柴田吉右

3. 日本生協連の残留農薬分析について (14:15~14:50)

(日本生活協同組合連合会) 石原光一郎

4. 公定試験法開発の現状と課題 (14:50~15:20)

((財) 日本食品分析センター) 藪崎 隆

休憩 (15:20~15:30)

5. 食品企業の食の安全安心への取組み ~残留分析を中心に~ (15:30~16:00)

(キューピー(株)研究所) 宮下 隆

6. LC/MS/MS 及び LC/TOF-MS を用いた農薬の多成分一斉分析 (16:00~16:30)

(アジレント・テクノロジー(株)) 滝埜昌彦

7. 残留農薬分析の自動化 (16:30~17:00)

(株)アイスティサイエンス) 谷澤春奈

8. 食品分析に使用する標準品について (17:00~17:30)

(林純薬工業(株)) 植田泰輔

9. 総括「残留農薬分析」(17:30~18:00)

(東京理科大学薬学部) 中村 洋

参加費 LC 研究懇談会会員:1,000 円, 協賛学会会員 (日本分析化学会含む):3,000 円・その他:4,000 円, 学生:500 円 (参加費は当日申し受けます)

カタログ展示 1 小間 5,000 円 (場所・スペースは運営委員に一任させていただきます)

情報交換会 講演終了後、講師を囲んで情報交換会を開催します (会費 3,500 円)。希望者は必ず前もってお申し込みください (参加費は当日申し受けます)。

申込方法 参加希望者は、同封の参加申込書にご記入の上 FAX または同内容を E メールよりお申し込みください。参加証は発行致しませんので、直接会場にお越しください (定員締切後の申込につきましては後日ご連絡します)。

申込先 〒141-0031 東京都品川区西五反田 1-26-2 五反田サンハイツ 304 号
社団法人 日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会

[電話: 03-3490-3351, FAX: 03-3490-3572, E-mail: hm_tanaka@jsac.or.jp]